

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 小平市の下水道事業と浸水対策等について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

下水道管は地中にあり、普段目にすることはありませんが、生活を営む上で欠かせない重要なインフラです。かつて下水道が普及した背景にはペストやコレラの流行がありました。公衆衛生という視点で現代の下水道は、今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止にも大きく貢献していると考えます。

小平市の下水道は整備工事事業が始まって今年で50年になります。11月5日発行の市報にも掲載されていましたが、下水道設備の老朽化や維持管理、近年増えてきたゲリラ豪雨などへの対応が必要です。

また、下水道事業には雨水や生活排水を排出するだけでなく、再生水や雨水利用、下水熱などの資源、エネルギーの有効利用など注目すべき点が多くあります。私たちの大切な下水道を適切に維持管理し、快適な生活環境を守り作っていくために以下質問します。

- 1、小平市下水道プランは2011年度から2020年度までの下水道事業を計画的に運営するために策定されました。2021年度以降の計画についてスケジュールをお示ください。
- 2、小平市下水道長寿命化基本構想と小平市下水道ストックマネジメント実施方針の違いと、小平市下水道ストックマネジメント実施方針に変更される背景についてお示ください。
- 3、小平市下水道プランの基本方針には、下水道経営基盤の強化があげられています。限られた収入の中、どのように経営基盤を強化していきますか。
- 4、小平市浸水予想区域図・土砂災害警戒区域図は、2019年発行のものと2020年発行のものとで浸水の予想が変わっています。理由をお示ください。
- 5、合流改善、雨水浸透について伺います。近年のゲリラ豪雨や大型台風などの影響などにより、市内に埋設されている合流式下水管では対応しきれない量の雨水への対策についてお示ください。
- 6、小平市の環境配慮のために雨水対策としてのグリーンインフラの整備は大切です。ご見解をお示ください。
- 7、再生水や下水熱などの資源、エネルギーなど、下水道が持つポテンシャルについてご認識をお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2020年11月11日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)